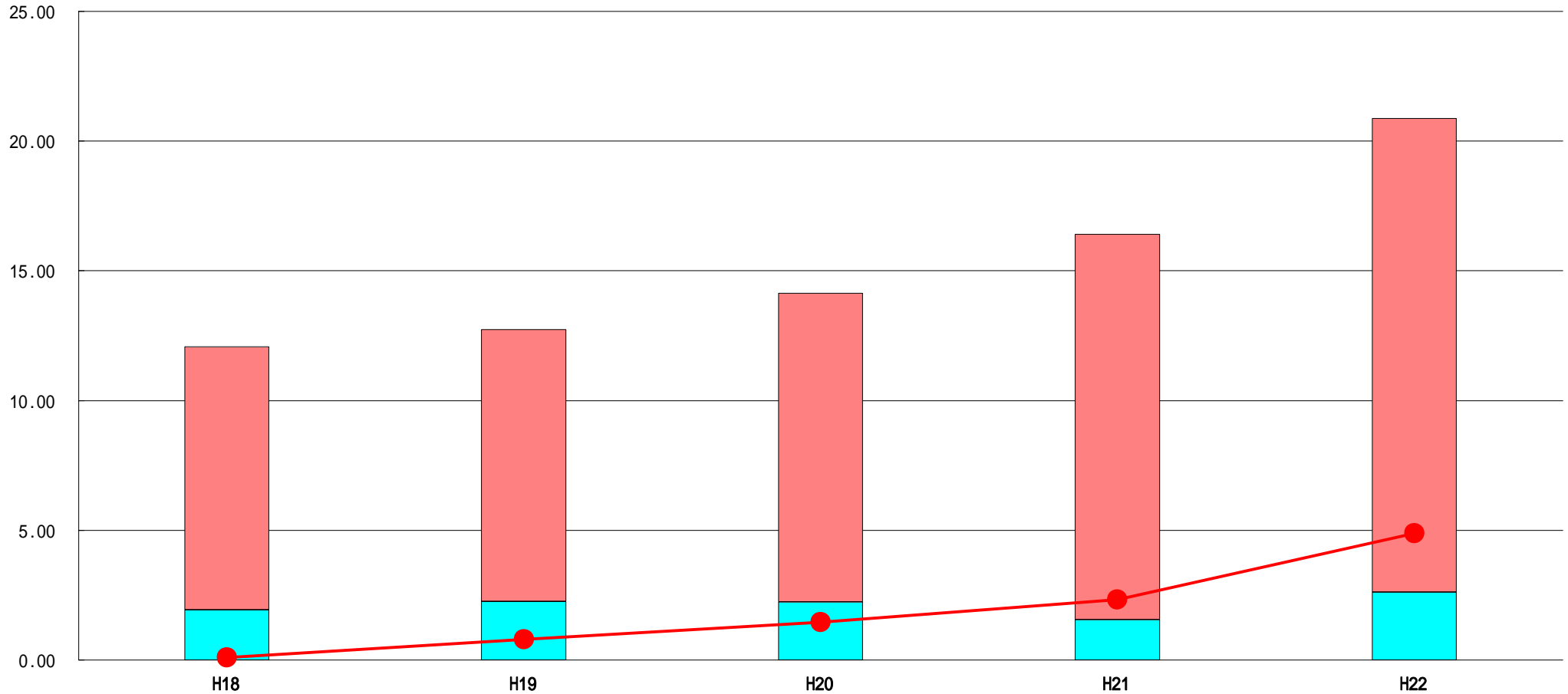


# (5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)




平成22年度

長野県白馬村

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22
 財政調整基金残高		10.14	10.49	11.90	14.85	18.26
 実質収支額		1.93	2.25	2.23	1.55	2.61
 実質単年度収支		0.10	0.80	1.46	2.33	4.89

**分析欄**

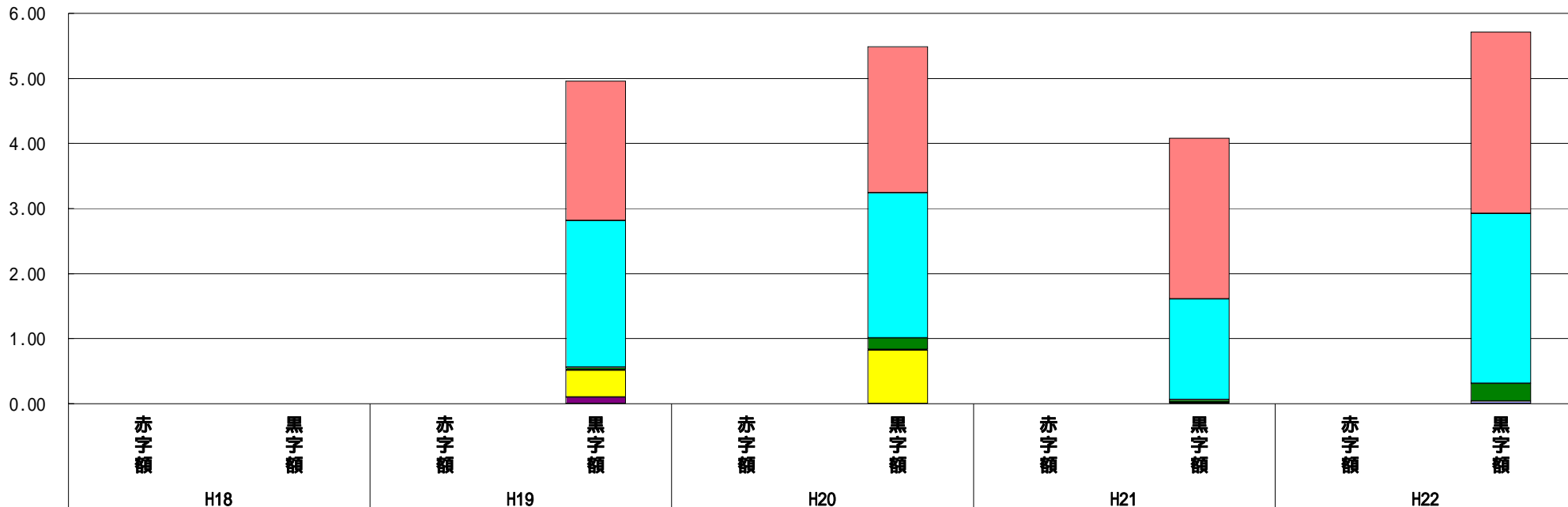
財政運営上、基金の取崩を行っていたが平成18年度からは計画的に基金への積立が行えるようになってきている。平成22年度は3億5000万円あまりの基金積立を行っている。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

平成22年度

長野県白馬村

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H18	H19	H20	H21	H22
水道事業会計		-	2.15	2.25	2.47	2.79
一般会計		-	2.25	2.23	1.55	2.61
下水道事業特別会計		-	0.04	0.18	0.04	0.27
農業集落排水事業特別会計		-	0.01	0.00	0.01	0.04
後期高齢者医療特別会計		-	-	0.01	0.01	0.00
国民健康保険事業勘定特別会計		-	0.41	0.82	0.00	0.00
老人保健医療特別会計		-	0.10	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

## 分析欄

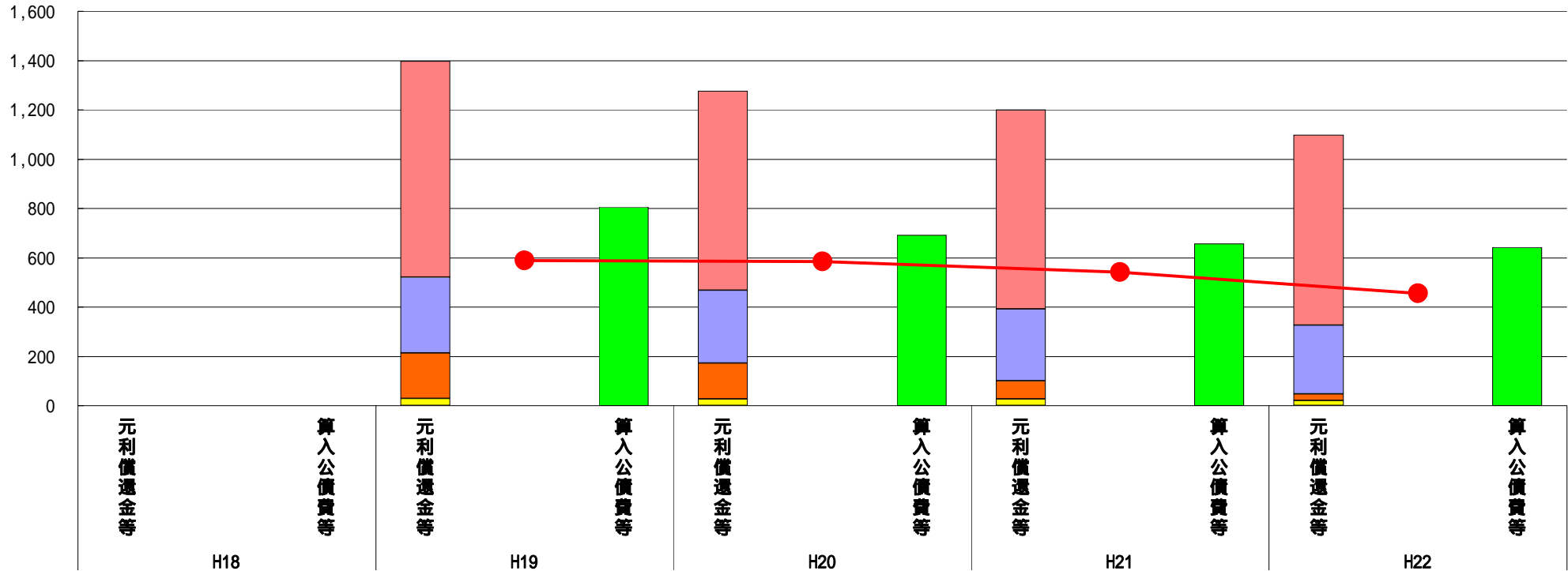
連結対象会計で赤字を計上している会計はない。標準財政規模比で見ると水道事業会計以外は大きな剰余金も出ていない状況である。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

長野県白馬村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	875	809	808	770	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	307	294	290	280	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	185	146	74	26	
	債務負担行為に基づく支出額	-	29	27	27	21	
	一時借入金利息	-	0	0	0	-	
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	807	691	657	642	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	589	585	542	455	

## 分析欄

長野五輪関連事業に伴う地方債は、ここ数年で次々と償還が終了しており、元利償還金等は順調に減少している。また、組合等が起こした地方債も、し尿処理場等建設費に係る地方債が終了し大幅に減額となっている。一般会計については今後も減少を続ける見込みとなっている。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

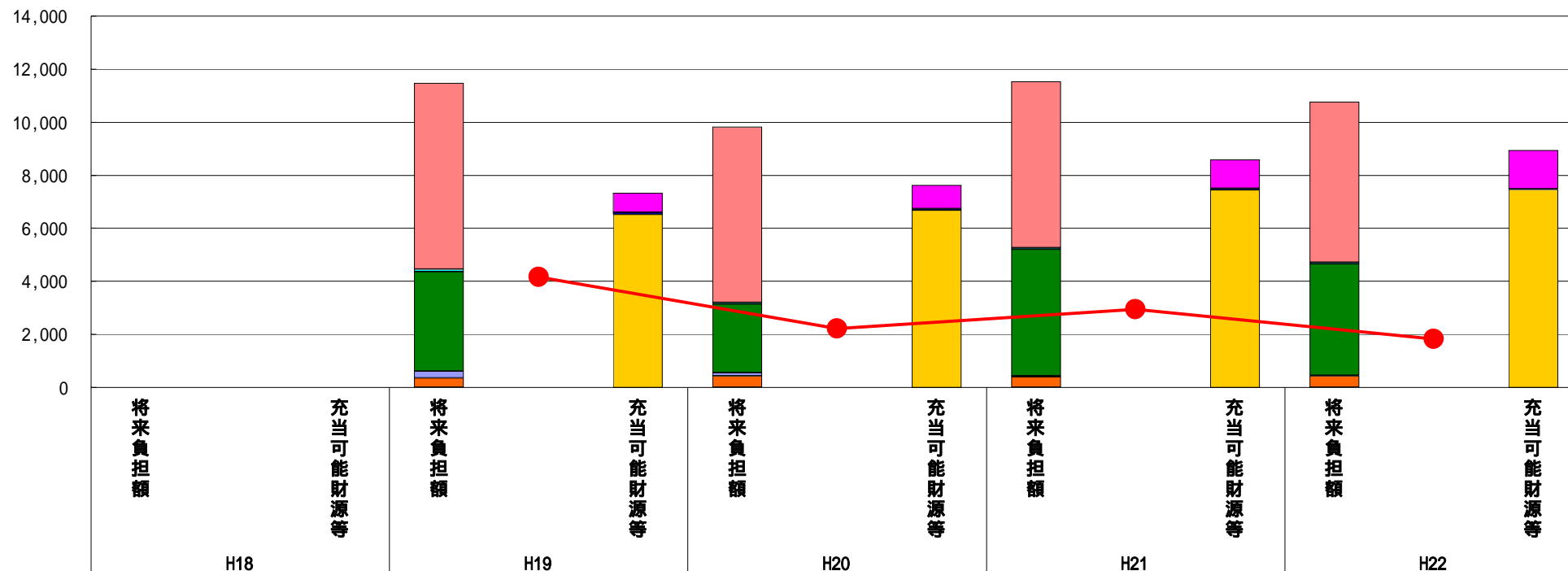
平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

長野県白馬村

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高	-	7,019	6,608	6,267	6,062	
	債務負担行為に基づく支出予定額	-	97	73	57	45	
	公営企業債等繰入見込額	-	3,748	2,586	4,767	4,203	
	組合等負担等見込額	-	256	117	38	20	
	退職手当負担見込額	-	355	434	391	435	
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-	
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金	-	727	867	1,075	1,446	
	充当可能特定歳入	-	70	63	63	30	
	基準財政需要額算入見込額	-	6,524	6,680	7,440	7,457	
(A) - (B)	将来負担比率の分子	-	4,154	2,209	2,943	1,832	

## 分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高と組合等負担等見込額は順調に減少している。また、基金積立も増額しており将来負担比率が減少する結果となっている。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。